

## イネ科通信 10

### キビ属 (キビ・ヌカキビ・オオクサキビ・ハイキビ)

最近の観察地 (愛知県立森林公園・矢倉緑地) でヌカキビやオオクサキビを見かけました。

また、以前の観察会 (大阪府立大学キャパス) でハイキビに出会ったので取り上げました。

1. **キビ**.....栽培される 1 年草。東インド原産、弥生時代に渡来した。最近はあまり見かけない。

2. **ヌカキビ**.....平地の湿った草原や水田跡に生える無毛の 1 年草

で、ほふく枝を出して地表を這いまわり、多くの枝を分ける。

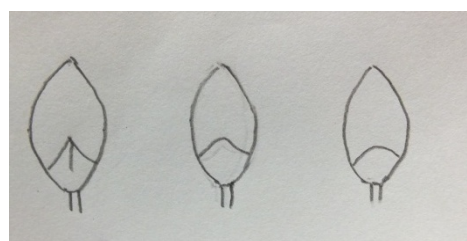
花序の枝は下垂する。稈は細いが 1m 以上になることもしばしばある。

3. **オオクサキビ**.....路傍や荒れ地に帰化する 1 年草。稈は太くて束生、  
多くは斜めに立ち、高さ 40 ~ 100cm。

4. **ハイキビ**.....暖地の海岸の湿った砂地に生える多年草。長い根茎は地下を這って時には数メートルにも達する。また、草丈は 1m 以上に達する。円錐花序は直立、枝は花時には斜め上方に向く。また穎果 (果実) は不稔である。



**キビ属の特徴**は円錐花序をもち 2 小花からなり、第 1 小花 (下方小花) は退化して護穎のみとなる。第 2 小花は両性花で結実する。即ち エノコログサ型花序です。下の写真 (インターネットより転写) をご覧ください。



右上図 (鉛筆書) はヌカキビ、オオクサキビ、ハイキビを第 1 包穎側からみたところです。第 1 包穎をルーペでよく見ると同定に役立ちます。大きさは無視して描きました。植物が桁違いに大きくても小さくてもこの第 1 包穎は同じです。